

開 講 年 次	1 年次 半期	選択・必修	選択	単 位 数	2	時 間 数	30	授業形態	講義																																																																						
授業科目(英文)	生涯学習概論 (Life Learning)						科目分類	学芸員科目																																																																							
担 当 教 員	夏目 千恵子																																																																														
履 修 条 件	前提科目	生涯学習概論Ⅰを受講していること																																																																													
	その他	なし																																																																													
<p>授業概要：</p> <p>生涯学習と社会教育、学校教育などの関係を明らかにし、次いで、わが国の社会教育の歴史を辿りながら生涯学習の現在をできるだけわかりやすく、できるだけ具体的に解説します。生涯学習の方法や社会教育行政の特質、社会教育計画、生涯各期の教育課題、生涯学習と社会教育をめぐる問題についても概観します。</p> <p>授業目標：</p> <p>(1)生涯学習、社会教育、生涯教育、生涯学習社会等の概念について説明できる。(2)生涯学習と社会教育・家庭教育・学校教育との関係について説明できる。(3)生涯学習推進に関わる法令、行政の仕組み、施策について説明できる。(4)社会教育の意義、内容、方法・形態について説明できる。(5)社会教育関係の指導者としての社会教育主事、司書、学芸員、社会教育委員、公民館主事、青少年教育施設の指導系職員、ボランティア・リーダー等の職務や役割について説明できる。以上5点がこの授業の目標です。</p> <p>カリキュラムマップにおける到達目標（最重要に◎、重要に○1つ）</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>知識・技能の習得</td> <td>思考力・判断力・表現力の育成</td> <td>学びに向かう力・人間性の涵養</td> </tr> <tr> <td>◎</td> <td></td> <td>○</td> </tr> </table> <p>授業計画、事前学習・事後学習、形式</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>授業回数</th> <th>授業内容及び計画（詳細に記入）</th> <th>事前・事後学習（学習課題）</th> <th>授業形態</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>オリエンテーション—授業のテーマや到達目標などについて解説する—</td> <td>事前：テキストの通読 事後：テキストの理解</td> <td>講義40分 グループワーク50分</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>生涯教育論の登場</td> <td>事前：テキストの通読 事後：テキストの理解</td> <td>講義40分 グループワーク50分</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>生涯学習と社会教育</td> <td>事前：テキストの通読 事後：テキストの理解</td> <td>講義40分 グループワーク50分</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>生涯学習と社会教育の歴史(1)</td> <td>事前：テキストの通読 事後：テキストの理解</td> <td>講義40分 グループワーク50分</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>生涯学習と社会教育の歴史(2)</td> <td>事前：テキストの通読 事後：テキストの理解</td> <td>講義40分 グループワーク50分</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>生涯学習と学校教育</td> <td>事前：テキストの通読 事後：テキストの理解</td> <td>講義40分 グループワーク50分</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>生涯学習関連行政の仕組み</td> <td>事前：テキストの通読 事後：テキストの理解</td> <td>講義40分 グループワーク50分</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>生涯各期の教育課題</td> <td>事前：テキストの通読 事後：テキストの理解</td> <td>講義40分 グループワーク50分</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>生涯学習と社会教育の計画</td> <td>事前：テキストの通読 事後：テキストの理解</td> <td>講義40分 グループワーク50分</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>生涯学習の方法と内容</td> <td>事前：テキストの通読 事後：テキストの理解</td> <td>講義40分 グループワーク50分</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>学習プログラムの編成</td> <td>事前：テキストの通読 事後：テキストの理解</td> <td>講義40分 グループワーク50分</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>生涯学習と社会教育施設</td> <td>事前：テキストの通読 事後：テキストの理解</td> <td>講義40分 グループワーク50分</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>生涯学習と社会教育職員</td> <td>事前：テキストの通読 事後：テキストの理解</td> <td>講義40分 グループワーク50分</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>生涯学習と社会教育をめぐる課題</td> <td>事前：テキストの通読 事後：テキストの理解</td> <td>講義40分 グループワーク50分</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>まとめ</td> <td>事前：テキストの通読 事後：テキストの理解</td> <td>講義40分 グループワーク50分</td> </tr> </tbody> </table> <p>教本： 佐藤晴雄著『生涯学習概論』学陽書房2020年 第2次改訂版</p> <p>参考文献：</p> <p>成績評価の方法、評価基準：到達目標が達成できたかを評価する。 試験（60%）、レポート（20%）、平常点（20%）。</p> <p>学生へのアドバイス： 生涯学習論Ⅰを修得した上で、生涯学習論Ⅱを履修してください。</p> <p>オフィスアワー： 月曜日のお昼休み</p>										知識・技能の習得	思考力・判断力・表現力の育成	学びに向かう力・人間性の涵養	◎		○	授業回数	授業内容及び計画（詳細に記入）	事前・事後学習（学習課題）	授業形態	1	オリエンテーション—授業のテーマや到達目標などについて解説する—	事前：テキストの通読 事後：テキストの理解	講義40分 グループワーク50分	2	生涯教育論の登場	事前：テキストの通読 事後：テキストの理解	講義40分 グループワーク50分	3	生涯学習と社会教育	事前：テキストの通読 事後：テキストの理解	講義40分 グループワーク50分	4	生涯学習と社会教育の歴史(1)	事前：テキストの通読 事後：テキストの理解	講義40分 グループワーク50分	5	生涯学習と社会教育の歴史(2)	事前：テキストの通読 事後：テキストの理解	講義40分 グループワーク50分	6	生涯学習と学校教育	事前：テキストの通読 事後：テキストの理解	講義40分 グループワーク50分	7	生涯学習関連行政の仕組み	事前：テキストの通読 事後：テキストの理解	講義40分 グループワーク50分	8	生涯各期の教育課題	事前：テキストの通読 事後：テキストの理解	講義40分 グループワーク50分	9	生涯学習と社会教育の計画	事前：テキストの通読 事後：テキストの理解	講義40分 グループワーク50分	10	生涯学習の方法と内容	事前：テキストの通読 事後：テキストの理解	講義40分 グループワーク50分	11	学習プログラムの編成	事前：テキストの通読 事後：テキストの理解	講義40分 グループワーク50分	12	生涯学習と社会教育施設	事前：テキストの通読 事後：テキストの理解	講義40分 グループワーク50分	13	生涯学習と社会教育職員	事前：テキストの通読 事後：テキストの理解	講義40分 グループワーク50分	14	生涯学習と社会教育をめぐる課題	事前：テキストの通読 事後：テキストの理解	講義40分 グループワーク50分	15	まとめ	事前：テキストの通読 事後：テキストの理解	講義40分 グループワーク50分
知識・技能の習得	思考力・判断力・表現力の育成	学びに向かう力・人間性の涵養																																																																													
◎		○																																																																													
授業回数	授業内容及び計画（詳細に記入）	事前・事後学習（学習課題）	授業形態																																																																												
1	オリエンテーション—授業のテーマや到達目標などについて解説する—	事前：テキストの通読 事後：テキストの理解	講義40分 グループワーク50分																																																																												
2	生涯教育論の登場	事前：テキストの通読 事後：テキストの理解	講義40分 グループワーク50分																																																																												
3	生涯学習と社会教育	事前：テキストの通読 事後：テキストの理解	講義40分 グループワーク50分																																																																												
4	生涯学習と社会教育の歴史(1)	事前：テキストの通読 事後：テキストの理解	講義40分 グループワーク50分																																																																												
5	生涯学習と社会教育の歴史(2)	事前：テキストの通読 事後：テキストの理解	講義40分 グループワーク50分																																																																												
6	生涯学習と学校教育	事前：テキストの通読 事後：テキストの理解	講義40分 グループワーク50分																																																																												
7	生涯学習関連行政の仕組み	事前：テキストの通読 事後：テキストの理解	講義40分 グループワーク50分																																																																												
8	生涯各期の教育課題	事前：テキストの通読 事後：テキストの理解	講義40分 グループワーク50分																																																																												
9	生涯学習と社会教育の計画	事前：テキストの通読 事後：テキストの理解	講義40分 グループワーク50分																																																																												
10	生涯学習の方法と内容	事前：テキストの通読 事後：テキストの理解	講義40分 グループワーク50分																																																																												
11	学習プログラムの編成	事前：テキストの通読 事後：テキストの理解	講義40分 グループワーク50分																																																																												
12	生涯学習と社会教育施設	事前：テキストの通読 事後：テキストの理解	講義40分 グループワーク50分																																																																												
13	生涯学習と社会教育職員	事前：テキストの通読 事後：テキストの理解	講義40分 グループワーク50分																																																																												
14	生涯学習と社会教育をめぐる課題	事前：テキストの通読 事後：テキストの理解	講義40分 グループワーク50分																																																																												
15	まとめ	事前：テキストの通読 事後：テキストの理解	講義40分 グループワーク50分																																																																												

開 講 年 次	1 年 次 半 期	選 択 ・ 必 修	必 修	単 位 数	2	時 間 数	30	授 業 形 態	講 義
授 業 科 目 (英 文)	博物館概論 (Introduction to Museology)						科 目 分 類	学 芸 員 科 目	
担 当 教 員	増 田 裕 彦								
履 修 条 件	前 提 科 目	なし							
	そ の 他	高 校 レ ベ ル の 世 界 史 、 日 本 史 の 知 識 が 必 要 に なる 。 GoogleClassroom を 使 用 す る 。							
授 業 概 要 : 博物館について包括的に学ぶ。毎回の授業終了前に小テスト/リアクションペーパーを行い、理解度について確認し、次の回の授業冒頭で補足説明を行う。									
授 業 目 標 : 1. 博物館の歴史と現状について理解する。 2. 学芸員資格のための基礎を理解する。									
カ リ キ ュ ラ ム マ ッ プ に お け る 到 達 目 標 (最 重 要 に◎、重 要 に○1つ)									
知 識 ・ 技 能 の 習 得			思 考 力 ・ 判 断 力 ・ 表 現 力 の 育 成			学 び に 向 か う 力 ・ 人 間 性 の 涵 養			
授 業 計 画 、 事 前 学 習 ・ 事 後 学 習 、 形 式									
授 業 回 数	授 業 内 容 及 び 計 画 (詳 細 に 記 入)					事 前 ・ 事 後 学 習 (学 習 課 題)		授 業 形 態	
1	1 章「博物館学とは」: 博物館学が対象とする博物館の定義・目的・機能・組織について学ぶ。					事前: 博物館のイメージ 事後: 1 章の復習		講義 75 分 課題 15 分	
2	2 章「博物館と学芸員」: 日本における博物館の種類と現状について概観した後、学芸員の役割について把握する。					事前: 学芸員の流行 事後: 2 章の復習		講義 75 分 課題 15 分	
3	3 章「ヨーロッパと北米における博物館の歴史」: ヨーロッパとアメリカの博物館の歴史と現状について学ぶ。					事前: 外国の博物館 事後: 3 章の復習		講義 75 分 課題 15 分	
4	4 章「アジアとアフリカにおける博物館の歴史」: アジアとアフリカの博物館の歴史と現状について学ぶ。					事前: 外国の博物館 事後: 4 章の復習		講義 75 分 課題 15 分	
5	5 章「日本における博物館の歴史」: 日本の博物館の歴史と現状について学ぶ。					事前: 日本の博物館 事後: 5 章の復習		講義 75 分 課題 15 分	
6	6 章「博物館展示のメッセージ性」、7 章「博物館展示の手法・技術」: 博物館展示の意味と伝達と解釈、分類について学ぶ。					事前: 博物館訪問振り返り 事後: 6 章の復習		講義 75 分 課題 15 分	
7	8 章「博物館と研究活動」: 博物館の調査研究活動や成果公開をめぐる問題について概観する。					事前: 研究のイメージ 事後: 8 章の復習		講義 75 分 課題 15 分	
8	9 章「博物館の情報・メディア」: アナログ、デジタルの多様なメディアでの博物館の情報発信について学ぶ。					事前: デジタルミュージアム 事後: 9 章の復習		講義 75 分 課題 15 分	
9	10 章「博物館資料の保存と修復」: 博物館資料の予防保存の考え方、要点について学ぶ。					事前: モノの保存と修復技術 事後: 10 章の復習		講義 75 分 課題 15 分	
10	11 章「文化財の保存と活用」: 文化保護行政の展開と安全な博物館づくりについて学ぶ。					事前: 文化財のイメージ 事後: 11 章の復習		講義 75 分 課題 15 分	
11	12 章「博物館と教育」: 博物館の利用者、社会に貢献するために博物館が提供する教育機会について学ぶ。					事前: 教育のイメージ 事後: 12 章の復習		講義 75 分 課題 15 分	
12	13 章「博物館と様々な連携」、14 章「国際社会における博物館の連携」: 博物館 と 他 の 機 関 や 専 門 家 等 と の 多 様 な 形 態 の 連 携 に つ い て 学 ぶ 。					事前: 協働 事後: 13・14 章の復習		講義 75 分 課題 15 分	
13	15 章「博物館の現在と未来」: 現在の課題と未来に向けての取り組みについて学ぶ。					事前: ノート整理 事後: テスト準備		講義 75 分 課題 15 分	
14・15	授業全体の理解度を最終テストで確認する。テスト結果、今後の学習に向けた提案を行う。					事前: テスト準備 事後: 振り返り		講義 30 分 テスト 60 分	
教 本 : 鶴見英成、[新訂]『博物館概論』放送大学教育振興会、2023 年、¥3,100+税					参 考 文 献 : そのつど紹介する				
成 績 評 価 の 方 法 、 評 価 基 準 : 授業参加状況等 (20%)、小テスト・レポート等 (30%)、最終テスト (50%) 等で総合評価する。遅刻や欠席は原則として認められません。									
学 生 へ の ア ド バ イ ス : 各種情報や様々な現象を批判的に読み解く力をつけ、自らの思考を展開できるトレーニングをしてください。									
オ フ ィ ス ア ワ ー : 初回講義日に伝える。									

開 講 年 次	1 年 次 半 期	選 択 ・ 必 修	必 修	単 位 数	2	時 間 数	30	授 業 形 態	講 義
授 業 科 目 (英 文)	博 物 館 教 育 論 (Museum of Education Theory)						科 目 分 類	学 芸 員 科 目	
担 当 教 員	安 倍 宰								
履 修 条 件	前 提 科 目	博 物 館 概 論							
	そ の 他	な し							
授 業 概 要 : 博 物 館 は 資 料 を 収 集 し、展 示 し、保 存 す る 学 習 機 関 で す。博 物 館 に は ど の よ う な 教 育 が 可 能 の か。そ の 利 用 形 態 に は ど の よ う な も の が あ る の か。ど の よ う に 成 果 を 共 有 す る こ と が で き る の か。現 代 社 会 に お け る 博 物 館 の あ り 方 も 合 め て 授 業 を 進 め る。									
授 業 目 標 : 博 物 館 教 育 に 関 す る 具 体 的 な 方 針 を 自 ら 工 夫 し て み る こ と。									
カ リ キ ュ ラ ム マ ッ プ に お け る 到 達 目 標 (最 重 要 に◎、重 要 に○1 つ)									
知 識 ・ 技 能 の 習 得			思 考 力 ・ 判 断 力 ・ 表 現 力 の 育 成			学 び に 向 か う 力 ・ 人 間 性 の 涵 養			
◎						○			
授 業 計 画、事 前 学 習 ・ 事 後 学 習、形 式									
授 業 回 数	授 業 内 容 及 び 計 画 (詳 細 に 記 入)					事 前 ・ 事 後 学 習 (学 習 課 題)		授 業 形 態	
1	博 物 館 の 現 代 的 位 置 付 け					事 前 : な し 事 後 : 復 習		講 義 90 分	
2	博 物 館 教 育 と は 何 か					事 前 : な し 事 後 : 復 習		講 義 90 分	
3	博 物 館 法 と 教 育					事 前 : な し 事 後 : 復 習		講 義 90 分	
4	博 物 館 教 育 に つ い て の 若 干 の 理 論					事 前 : な し 事 後 : 復 習		講 義 90 分	
5	博 物 館 教 育 の た め の 環 境 整 備					事 前 : な し 事 後 : 復 習		講 義 90 分	
6	博 物 館 教 育 の た め の 人 的 資 源					事 前 : な し 事 後 : 復 習		講 義 90 分	
7	博 物 館 資 料 と 展 示					事 前 : な し 事 後 : 復 習		講 義 90 分	
8	博 学 共 同 と は 何 か					事 前 : な し 事 後 : 復 習		講 義 90 分	
9	教 育 プ ロ グ ラ ム の 作 成					事 前 : な し 事 後 : 復 習		講 義 90 分	
10	教 育 プ ロ グ ラ ム の 成 果 と 評 価					事 前 : な し 事 後 : 復 習		講 義 90 分	
11	博 物 館 教 育 と 地 域 社 会					事 前 : な し 事 後 : 復 習		講 義 90 分	
12	生 涯 学 習 の 意 義 と 博 物 館 教 育					事 前 : な し 事 後 : 復 習		講 義 90 分	
13	自 分 が 考 え る 博 物 館 教 育					事 前 : 下 調 べ 事 後 : 復 習		報 告 と デ ィ ス カ ッ シ ョ ン 90 分	
14	自 分 が 考 え る 博 物 館 教 育 2					事 前 : 下 調 べ 事 後 : 復 習		報 告 と デ ィ ス カ ッ シ ョ ン 90 分	
15	ま と め と 復 習					事 前 : 総 合 的 な 復 習 事 後 : な し		レ ポ ー ト 作 成 90 分	
教 本 : な し					参 考 文 献 : そ の 都 度 紹 介 す る。				
成 績 評 価 の 方 法、評 価 基 準 : 授 業 参 加 状 況 等 (50%)、小 テ ス ト ・ レ ポ ー ト 等 (50%) で 総 合 評 価 す る。									
学 生 へ の ア ド バ イ ス : 最 終 的 な レ ポ ー ト だ け で は な く、授 業 半 ば で 小 さ な レ ポ ー ト を 課 す こ と も あ り ま す。									
オ フ ィ ス ア ワ ー : 初 回 講 義 日 に 伝 え る。									

開 講 年 次	1 年次 半期	選択・必修	必修	単 位 数	2	時 間 数	30	授業形態	講義・演習
授業科目(英文)	博物館情報・メディア論 (Museum Information and Media)						科目分類	学芸員科目	
担 当 教 員	小林 克								
履 修 条 件	前提科目	なし							
	その他	なし							
授業概要： 博物館における情報の意義と利用方法を理解し、収蔵品のデジタル化の方法とメディアへの保存、デジタル化した情報の発信と保守について理解する。著作権法等の意義を理解し、収蔵資料のデータベース化を行うことで応用を図り、調査研究・情報管理・公開に関する情報の取り扱いについて習得する。その為に様々な博物館の事例を示し、分かりやすく解説する。									
授業目標： ①博物館における情報・視聴覚資料提供の基本的考え方と、用いる情報機器の概要について理解して説明できるようになる。 ②21世紀にはいり格段に進んだ、博物館における情報の提供と活用に関する基礎的能力を得る。									
カリキュラムマップにおける到達目標（最重要に◎、重要に○1つ）									
知識・技能の習得			思考力・判断力・表現力の育成			学びに向かう力・人間性の涵養			
◎			○						
授業計画、事前学習・事後学習、形式									
授業回数	授業内容及び計画（詳細に記入）					事前・事後学習（学習課題）		授業形態	
1	ガイダンス 授業の進め方、評価方法の説明。現代の生活と情報メディア、博物館との関わりについて					事前：スマホ等で博物館HPを見る 事後：配布資料の内容確認		講義(70分)、アンケート(20分)	
2	博物館情報とは何か—情報の意義—博物館を取り巻く現代社会における情報の活用について					事前：関連事項をネットで検索 事後：配布資料の内容確認		講義(80分)、小テスト(10分)	
3	博物館と情報の種類。一次資料、二次資料、ストック情報とフロー情報について					事前：収蔵資料を博物館HPで見る 事後：配布資料の内容確認		講義(80分)、小テスト(10分)	
4	博物館活動と情報の諸相。資料のドキュメンテーションとデータベース化について					事前：関連事項をネットで検索 事後：配布資料の内容確認		講義(80分)、小テスト(10分)	
5	展示活動と情報—アナログからデジタルへ。常設展示室や教育普及活動での映像やデジタルデータ活用					事前：関連事項をネットで検索 事後：配布資料の内容確認		講義(80分)、小テスト(10分)	
6	資料のデータベース化とその応用。具体的な資料情報システムの意義と活用状況について					事前：関連事項をネットで検索 事後：配布資料の内容確認		講義(80分)、小テスト(10分)	
7	情報公開と広報活動。博物館の広報活動にどのように情報を利用するかその実際について					事前：関連事項をネットで検索 事後：配布資料の内容確認		講義(80分)、小テスト(10分)	
8	資料情報の抽出・記録化。実際に博物館資料からどのように情報を抽出し記録化するか、資料カード作成を実施					事前：チラシ等を博物館HPで見る 事後：配布資料の内容確認		講義(30分)、演習(60分)	
9	博物館と知的財産。博物館における著作権法や様々な知的財産権との関わりや処理の実際について					事前：関連事項を文化庁HPで見る 事後：配布資料の内容確認		講義(80分)、小テスト(10分)	
10	発信される博物館情報。インターネットを利用した博物館の情報提供や、各種サービスの実態について					事前：関連事項をネットで検索 事後：配布資料の内容確認		講義(45分)、演習(45分)	
11	博物館活動の情報化。博物館での調査研究活動、教育普及活動の記録化の歴史とデジタル化の実情					事前：関連事項をネットで検索 事後：配布資料の内容確認		講義(70分)、ディスカッション(20分)	
12	デジタルアーカイブとデジタルミュージアム。幾つかの博物館で実施されている具体例から実態と課題をみる					事前：関連事項をネットで検索 事後：配布資料の内容確認		講義(80分)、小テスト(10分)	
13	博物館運営と情報メディア利用の実際。さまざまな博物館の映像から情報メディア利用の実際を確認					事前：関連事項をネットで検索 事後：配布資料の内容確認		講義(70分)、小レポート作成(20分)	
14	インターネットと情報端末の利用。スマホ等を利用した展示・教育普及活動について解説し、課題を提示する					事前：関連事項をネットで検索 事後：課題レポート作成継続		講義(60分)、演習(30分)	
15	まとめ 課題レポート内容の発表と提出。全体をまとめた説明					事前：課題発表の確認 事後：配布資料の内容確認		講義(45分)、ディスカッション(45分)	
教本： 特にありません。ほぼ毎回資料プリントを配布します。					参考文献： 西岡貞一・篠田謙一2013『博物館情報・メディア論』放送大学教育振興会他にも、その都度提示します。				
成績評価の方法、評価基準： 到達目標が達成できたかを評価する。 授業参加状況等（30%）、小テスト・レポート等（30%）、定期試験（40%）等で総合評価する。									
学生へのアドバイス： 博物館見学の課題を出します。資格取得必要科目なので、出来るだけ欠席しない事。欠席がある場合は追加で課題を出します。									
オフィスアワー： 初回講義日に伝える。									

開 講 年 次	1 年 次 半 期	選 択 ・ 必 修	必 修	単 位 数	2	時 間 数	30	授 業 形 態	講 義
授 業 科 目 (英 文)	博 物 館 資 料 保 存 論 (Preservation of Museum Collections)						科 目 分 類	学 芸 員 科 目	
担 当 教 員	小 林 克								
履 修 条 件	前 提 科 目	な し							
	そ の 他	な し							
授 業 概 要 : 博 物 館 に お け る 資 料 保 存 の 意 義 を 確 認 し、各 種 博 物 館 資 料 の 保 存 に つ い て、映 像 を 見 て 分 かり や す く 示 す。必 要 に 応 じ て プ リ ン ト を 配 布 し、資 料 保 存 の 意 義 に つ い て 理 解 し て も ら う。専 門 用 語 も 具 体 的 に 解 説 し、資 料 保 存 の 全 体 像 を 把 握 出 来 る よ う に す る。									
授 業 目 標 : 博 物 館 資 料 の 収 蔵 ・ 展 示 等 の 環 境 を 科 学 的 に 捉 え、博 物 館 資 料 を 良 好 な 状 態 で 保 存 ・ 継 承 し て い く た め の 基 礎 的 知 識 ・ 技 術 を 習 得 す る。									
カ リ キ ュ ラ ム マ ッ プ に お け る 到 達 目 標 (最 重 要 に◎、重 要 に○1 つ)									
知 識 ・ 技 能 の 習 得			思 考 力 ・ 判 断 力 ・ 表 現 力 の 育 成			学 び に 向 か う 力 ・ 人 間 性 の 涵 養			
◎			○						
授 業 計 画、事 前 学 習 ・ 事 後 学 習、形 式									
授 業 回 数	授 業 内 容 及 び 計 画 (詳 細 に 記 入)					事 前 ・ 事 後 学 習 (学 習 課 題)		授 業 形 態	
1	ガイダンス 授業の進め方、評価方法の説明。博物館における資料保存の重要性と実態について					事前：シラバスの確認 事後：配布資料の内容確認		講義(70分)、 アンケート(20分)	
2	資料保存の目的と意義。博物館にとって資料の保存がどのように大切な、歴史と現状を理解する					事前：テキスト関連箇所を読む 事後：配布資料の内容確認		講義(80分)、 小テスト(10分)	
3	博物館資料とは何か。民俗資料、歴史資料、考古資料、映像資料、複製等の保存と育成等について解説					事前：テキスト関連箇所を読む 事後：配布資料の内容確認		講義(80分)、 小テスト(10分)	
4	経年劣化の原因、種類と対策。資料の属性により異なる経年劣化を理解し、その予防、進行阻止について					事前：テキスト関連箇所を読む 事後：配布資料の内容確認		講義(80分)、 小テスト(10分)	
5	博物館資料の保存① 資料の環境。収蔵庫と展示室、貸出先など。資料を取り巻く具体的環境					事前：テキスト関連箇所を読む 事後：配布資料の内容確認		講義(80分)、 小テスト(10分)	
6	博物館資料の保存② 温度、湿度、光と照明、振動などが資料に与える影響					事前：テキスト関連箇所を読む 事後：配布資料の内容確認		講義(80分)、 小テスト(10分)	
7	博物館資料の保存③ 空気汚染と生物被害とIPM。燻蒸の変遷と現状、IPMの実施方法との関係					事前：テキスト関連箇所を読む 事後：配布資料の内容確認		講義(80分)、 小テスト(10分)	
8	博物館資料の保存④ 災害の予防と対策。水害、火災、地震、盗難、破壊・汚損行為等について					事前：テキスト関連箇所を読む 事後：配布資料の内容確認		講義(80分)、 小テスト(10分)	
9	博物館資料の保存⑤ 伝統的保存方法の事例を紹介し、その有用性を理解し、方法を学ぶ					事前：テキスト関連箇所を読む 事後：配布資料の内容確認		講義(80分)、 小テスト(10分)	
10	博物館資料の状態調査。展覧会借用時の状態チェック。文化財調査と保存の為の調査と修復					事前：テキスト関連箇所を読む 事後：配布資料の内容確認		講義(40分)、 実習(50分)	
11	修復と保存処理。考古資料、紙資料等の各種資料毎の修復方法と、科学的調査と保存処理について					事前：テキスト関連箇所を読む 事後：配布資料の内容確認		講義(70分)、 小テスト(20分)	
12	資料の梱包と輸送、展示作業。保存を最優先とする梱包や運送の実態について					事前：テキスト関連箇所を読む 事後：配布資料の内容確認		講義(80分)、 小テスト(10分)	
13	建造物の保存、活用と野外博物館、民具。建造物や民具資料の保存と修復、展示方法と各種活用について					事前：指定する参考資料等用語を確認 事後：課題の作成。		講義(70分)、 レポート課題説明(20分)	
14	地域資源・自然環境の保全 景観・街並の保存と活用。「重伝建地区」、「文化的景観」、エコミュージアム等					事前：テキスト関連箇所を読む 事後：配布資料の内容確認		講義(80分)、 小テスト(10分)	
15	まとめ。発表。レポート提出					事前：レポートの発表準備 事後：配布資料の内容確認		講義(30分)、発表、 ディスカッション(60分)	
教 本 : 石 崎 武 志 『博 物 館 資 料 保 存 論』 講 談 社 ¥2,376(税 込 込) 他 に 資 料 プ リ ン ト を 適 宜 配 布 し ま す。 参 考 文 献 : 必 要 に 応 じ、そ の 都 度 提 示 し ま す。									
成 績 評 価 の 方 法、評 価 基 準 : 到 達 目 標 が 達 成 で き た か を 評 価 す る。 授 業 参 加 状 況 等 (20%)、小 テ ス ト ・ レ ポ ー ト 等 (30%)、定 期 試 験 (50%) 等 で 総 合 評 価 す る。									
学 生 へ の ア ド バ イ ス : 博 物 館 見 学 の 課 題 を 出 し ま す。資 格 取 得 必 要 科 目 な の で、出 来 る だ け 欠 席 し な い 事。欠 席 が あ る 場 合 は 追 加 で 課 題 を 出 し ま す。									
オ フ ィ ス ア ワ ー : 初 回 講 義 日 に 伝 え る。									

開 講 年 次	1 年次 半期	選択・必修	必修	単 位 数	2	時 間 数	30	授業形態	講義
授業科目(英文)	博物館資料論 (Materials of Museum)						科目分類	学芸員科目	
担 当 教 員	安倍 宰								
履 修 条 件	前提科目	博物館概論							
	その他	なし							
<p>授業概要： 博物館は資料を収集し、展示し、保存する学習機関です。博物館にはどのような資料が求められるのか。その入手形態にはどのようなものがあるのか。どのように共有することができるのか。現代社会における博物館のあり方も含めて授業を進める。</p>									
<p>授業目標： 博物館資料に関する基礎知識を習得してゆくこと。</p>									
カリキュラムマップにおける到達目標（最重要に◎、重要に○1つ）									
知識・技能の習得			思考力・判断力・表現力の育成			学びに向かう力・人間性の涵養			
◎						○			
授業計画、事前学習・事後学習、形式									
授業回数	授業内容及び計画（詳細に記入）					事前・事後学習（学習課題）		授業形態	
1	博物館の現代的な位置付け					事前：なし 事後：復習		講義 90分	
2	博物館資料とは何か					事前：なし 事後：復習		講義 90分	
3	博物館法と資料					事前：なし 事後：復習		講義 90分	
4	博物館資料の種類					事前：なし 事後：復習		講義 90分	
5	野外資料の保存について					事前：なし 事後：復習		講義 90分	
6	記憶の中の資料を形にする					事前：なし 事後：復習		講義 90分	
7	ジオパークと博物館資料					事前：なし 事後：復習		講義 90分	
8	資料情報のネットワーク化					事前：なし 事後：復習		講義 90分	
9	「参加」する資料、ハンズオフ					事前：なし 事後：復習		講義 90分	
10	ビジュアル型の資料の特色					事前：なし 事後：復習		講義 90分	
11	写真、映像、コンピューター情報、実物					事前：なし 事後：復習		講義 90分	
12	資料収集のあり方					事前：なし 事後：復習		講義 90分	
13	「民俗誌」のあり方					事前：なし 事後：復習		講義 90分	
14	「民俗誌」を書く					事前：なし 事後：復習		講義 90分	
15	まとめと復習					事前：総合的な復習 事後：なし		レポート作成 90分	
教本： なし					参考文献： その都度紹介する。				
<p>成績評価の方法、評価基準：到達目標が達成できたかを評価する。 授業参加状況等（50%）、小テスト・レポート（50%）等で総合評価する。</p>									
<p>学生へのアドバイス： 最終的なレポートだけではなく、授業半ばで小さなレポートを課すこともあります。</p>									
<p>オフィスアワー： 初回講義日に伝える。</p>									